



## ラーニングA.A.O. ウェブアクセシビリティ 組織内研修向け教材パッケージ

- ▶ ウェブアクセシビリティに関する研修コンテンツをCD-ROM内に収録
- ▶ 組織内で幅広く配布することで、職員(社員)がそれぞれのスケジュールに合わせて学習を行うことができる
- ▶ 研修セミナーの開催などに比べて、学習する対象者を幅広く設定し、効率的に組織内の啓発、スキルアップを実現することが可能

詳しくは <http://www.aao.ne.jp/author/learning/> をご覧ください

### JIS対応には、組織的な啓発やスキルアップが不可欠!

2004年6月に、ウェブアクセシビリティ(高齢者・障害者を含む誰もがウェブコンテンツを利用可能であること)の実現を求めるJIS規格: JIS-X8341-3が制定されました。

地方自治体や企業のホームページは、複数の職員(社員)が企画や発注業務、制作や更新作業に携わっています。しかし現状では、広報や情報企画など一部の担当の方が、アクセシビリティの重要性を認識しても、情報を発信する多くの部署の職員(社員)の理解が少ないため、アクセシビリティ向上の取り組みがなかなか進まないというケースが多々あります。

高齢者や障害者に配慮のあるホームページを実現していくためには、その必要性や対応方法を、組織内で周知していくことが欠かせません。

### ラーニングA.A.O.とは

「ラーニングA.A.O.」は、ウェブアクセシビリティに関する研修コンテンツをCD-ROM内に収録した教材パッケージです。組織内で幅広く配布することで、職員(社員)がそれぞれのスケジュールに合わせて学習を行うことができます。研修セミナーの開催などに比べて、学習する対象者を幅広く設定し、効率的に組織内の啓発、スキルアップを実現することが可能となります。

アライド・ブレインズでは、これまで多くの自治体や企業、制作事業者の担当者を対象に、ウェブアクセシビリティに関する講演・講習を担当してきました。「ラーニングA.A.O.」は、そのノウハウを基に、担当者の方にとって分かりやすく実践的な、解説を行います。

まず、2005年2月14日より、基礎理解として不可欠な内容を収録した「入門編」を提供します。今後、細かな制作テクニックに焦点をあてた「実践編」など上級者向け、ウェブ管理者など特定の立場の方向けの教材パッケージを拡充していく予定です。

### ラーニングA.A.O.「入門編」



発売日 2005年2月14日

提供形態 CD-ROM

動作環境、OS

Windows 2000、Windows XP

CD-ROMドライブ必須

Internet Explorer(6.0を推奨)

Windows Media Player(9.0を推奨)

教材画面イメージ



※ 動作環境に関する情報は、変更させていただく場合があります。変更情報は、商品ホームページにてご案内いたします。

### 「入門編」収録内容

1. アクセシビリティとは?  
～誰にも必要な基本理解～
2. 多様なウェブ利用の実際と、現在の問題点  
～利用者の現実を知る～
3. 明日から役立つアクセシビリティ  
～本質的な理解と最優先の対応～
4. ウェブコンテンツJIS規格制定  
～背景と現状～
5. JIS規格の基本理解  
～求められるコンテンツ像、規格の読み方～

基本価格 (一般企業、事業者向け)	50ライセンス	378,000円
	100ライセンス	714,000円
	200ライセンス	1,344,000円
自治体、公的機関向け 特別価格	50ライセンス	302,400円
	100ライセンス	571,200円
	200ライセンス	1,075,200円

(表示価格は全て税込です)

# 障害のある方が、ホームページをどのように利用しているか、ご存知ですか？

ラーニングA.A.O.は、4本のビデオを収録。利用者の実情を知ること、アクセシビリティを実感を持って学ぶことができます。

## 音声読み上げで利用する



音声読み上げソフトの利用者である宇佐美昭治さんに、普段ホームページをどのように利用しているかについて紹介していただきました。

「音声でホームページを聞く」ことで、ホームページの内容をどのように理解することが出来るのでしょうか？配慮が無いホームページでは、どのような問題が起きているのでしょうか？

## 表示を変換して利用する



強度の弱視である伊敷政英さん（アライド・ブレインズ）に、普段どのようにホームページを利用しているかについて解説してもらいました。

伊敷さんの場合、見えづらさを克服するために、画面の表示を変換する特殊なソフトを利用しています。通常の表示で見るホームページとどのように違うのでしょうか？

どのようなホームページが読みにくかったり、操作しにくいのでしょうか？

## 補助具を使って操作する



清水正男さんは、スキー事故が原因で、手足を思うように動かすことが出来ません。障害を補う特殊な道具を活用して、様々なホームページを閲覧したり、ご自分のホームページの運営などを行っています。

普段、どのようにホームページ内を移動したり、文章を書いたりしているのでしょうか？

手を自在に使ってマウスやキーボードを利用する場合と、どのような違いや困難があるのでしょうか？

## 唇接触スイッチで操作する



栗原征史さんは、2歳で進行性筋ジストロフィーと診断され、現在は、人工呼吸器を装着し在宅生活をしています。ホームページやメールのヘビーユーザーである栗原さんに、特殊なセンサーやソフトを活用して、普段どのように使っているか、どのような場合に困っているかを紹介いただきました。

どのような仕組みで、パソコンやホームページを操作しているのでしょうか？

ホームページを使っていて、どのような配慮が無いと困ってしまうのでしょうか？